

## 社長の差別化学習法

難しい経済環境が長く続いていることで法人企業の70数%が赤字になるという、とても難しい状態が続いています。この苦しい状態から脱出するにはまず社長が経営戦略の研究に取り組んで、社長の戦略実力を高める以外に方法がありません。

社長が戦略実力を高めるということについては、もう1つ理由があります。それは従業員30人迄は業績の98%が、従業員30人～100人迄でも業績の96%が、社長1人の戦略実力できまるからです。

こういうことから業績を良くするにはまず社長が本気で経営戦略の研究に取り組む以外、他に方法がないという事になります。それでは経営戦略の実力を高めるにはどうしたらよいかということですが、そのやり方はまず着眼大局の原則に従って「経営の全体構造」を押さえます。

このあと利益性の善し悪しはどのようにして決まるか、利益性の原則も押さえておく必要があります。

こうしたあとで1つ1つの大事なところを勉強していくと、早く戦略実力が高まります。このとき必要になるのが、学習方法の「差別化」になります。人と違った学習方法で勉強すると、早く実力が高まります。この教材は社長の差別化学習法というテーマで説明していくことにしています。

第2章 社長の差別化学習法	16
1. 社長の素質	17
2. 教材の種類	18
3. 質が高い教材を準備	19
4. 学習回数を多くする	24
5. 学習計画を立てる	24
全体のまとめ	25